

平成23年度
ゼロ予算事業実績報告



平成24年5月
大 仙 市

1 ゼロ予算事業の趣旨

ゼロ予算事業は、新たな予算措置を伴うことなく、職員一人ひとりの積極的な創意工夫や新しい発想のもと、技術・知識、資産、情報等の最大限の活用や市民との協働・連携など多様な手法を用いることによって、市民サービスの一層の充実を図る試みです。そのため、通常業務から一歩前に入る取り組みと考えています。

今後も自治体を取り巻く財政状況は、一層厳しさを増すことが予想されます。その一方で、住民ニーズは多様化しており、そのニーズに積極的に応えていくためにもゼロ予算事業は必要かつ重要な取り組みとなっています。

2 これまでの実績

ゼロ予算事業は、平成19年度から実施してきました。これまでの各年度の実績は以下のとおりです。

年 度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
実施件数	35件	50件	53件	47件

3 平成23年度の実績

平成23年度に実施したゼロ予算事業は、新規事業として取り組んだものが6件、前年度からの継続事業が29件で、合計35件でした。

ゼロ予算事業開始から5年目をむかえ、文化財めぐり、保育園児や小学校児童を対象とした体験教室など好評を得ている事業もあり、徐々にゼロ予算事業が浸透してきているものと考えています。

平成24年度は、2月時点で新規事業11件、継続事業24件の合計35件のゼロ予算事業を計画しており、各事業がスタートしています。

引き続き、既存の資産や施設、知識、情報等の活用、市民との協働・連携を図りながら、より一層の市民サービスの充実に努めていきます。

平成23年度ゼロ予算事業一覧

N0	事業名	提案部署
1	市民向けパソコン基礎講習会 「出前講座パソコン教室」	企画部 情報システム課
2	就業支援パソコン基礎講習会事業	企画部 情報システム課
3	国際交流員（C I R）異文化理解 出前講座	企画部 男女共同参画・交流推進課
4	パパリストを活用した男性にとっての 男女共同参画の推進	企画部 男女共同参画・交流推進課
5	施設標識及びリーフレットの多言語化	企画部 男女共同参画・交流推進課
6	事業所のごみ排出意識啓発事業	市民部 環境交通安全課
7	鮭の稚魚の成長観察	農林商工部 農林振興課
8	J Rとの連携事業「駅からハイキング」	農林商工部 商工観光課
9	県南地区職場研修事業	農林商工部 企業対策課
10	仙北地域雇用促進就職面接会	農林商工部 企業対策課
11	大仙市オリジナル名刺作成	農林商工部 企業対策課
12	市内企業データベースの公開	農林商工部 企業対策課
13	シルバー人材センター地域窓口 支援事業	農林商工部 企業対策課
14	八乙女公園桜守プロジェクト 0 予算事業	中仙支所 農林建設課
15	樹木の剪定及び伐採処分等事業	教育指導部 教育総務課
16	校庭内ライン引き事業	教育指導部 教育総務課
17	学びい囲碁サロン	生涯学習部 生涯学習課
18	花館地区歩こう会	生涯学習部 生涯学習課 花館公民館

N0	事業名	提案部署
19	角間川囲碁教室	生涯学習部 生涯学習課 花館公民館
20	アクアレスキュー (旧アクアキッズフェス)	生涯学習部 生涯学習課 神岡中央公民館
21	ふるさと発見事業	生涯学習部 生涯学習課 神岡中央公民館
22	こども自身体験事業	生涯学習部 生涯学習課 神岡中央公民館
23	子ども体験教室	生涯学習部 生涯学習課 西仙北中央公民館
24	子ども教室 (のびのびきりん教室 2011 バージョン)	生涯学習部 生涯学習課 協和公民館
25	自主事業におけるキッズルーム (託児) 開設	生涯学習部 生涯学習課 協和公民館
26	なんがいキッズプロジェクト	生涯学習部 生涯学習課 南外公民館
27	仙北ふれあい文化センター環境整備 大作戦	生涯学習部 生涯学習課 仙北公民館
28	「太田学びい教室」 & 「太田てらこ屋」 (自主的な学力レベルアップ事業)	生涯学習部 生涯学習課 太田公民館
29	ゲストティーチャー紹介事業	生涯学習部 生涯学習課 太田公民館
30	少年少女野球教室 in おおた	生涯学習部 生涯学習課 太田公民館
31	公立図書館と学校図書館との連携	生涯学習部 生涯学習課 総合図書館
32	大仙市文化財めぐり	生涯学習部 文化財保護課
33	市民等が主催して行われる講座や 座談会等への講師派遣事業	生涯学習部 文化財保護課
34	国指定名勝池田氏庭園リーフレット等 作成 (編集及び監修協力)	生涯学習部 文化財保護課
35	文化財庭園活用事業 (旧池田氏庭園・ 払田分家庭園のライトアップ事業)	生涯学習部 文化財保護課

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	1	事業名	市民向けパソコン基礎講習会「出前講座パソコン教室」	提案部署	企画部 情報システム課
事業内容 市民の情報活用能力の向上を図ることを目的として、市職員を講師としたパソコン基礎講習会を市内3箇所で開催した。 講習内容：パソコン基礎講習（マウス操作・文字入力・インターネット講座） 開催地域：大曲、西仙北、太田 講師：IT講座指導補助員（臨時職員）2名、情報システム課職員1名 実施回数：5回 受講者：西仙北会場1名（6/27～28）、太田会場6名（7/5～6）、大曲会場19名（7/13～14、8/11～12、9/6～7） 受講料：テキスト代500円（テキストは情報システム課で作成・印刷） 機材：ノートパソコン 13台（情報システム課端末）、プロジェクター 1台（情報システム課備品）					
事業効果・成果 多くの受講者から高い評価を受けており、本事業の目的であった市民に対する情報活用能力の向上、情報利用者の底上げをすることができた。今後も本事業を継続していくことで、地域情報化における年代や地域による情報活用能力の格差是正を図ることができる。					
今後に向けての課題・改善点	出前講座として各地域に出向いて実施しているが、受講者が少ない状況にある。広報掲載のタイミングや掲載回数を増やすなど周知方法を検討し、受講者を増やしていきたい。			23年度区分	継続
No.	2	事業名	就業支援パソコン基礎講習会事業	提案部署	企画部 情報システム課
事業内容 厳しい経済・雇用情勢をふまえ、再就職や就業に役立つために必要と思われる情報活用能力の向上と就労への支援を図ることを目的として、市職員によるパソコン基礎講習会を実施した。 講習内容：Excel入門コース（表作成、関数（SUM, AVERAGE）、グラフ、データベース） 会場：大曲庁舎 講師：IT講座指導補助員（臨時職員）2名、情報システム課職員 1名 実施回数：5回（1/26～27、2/8～9、2/28～29、3/13～14、3/27～28） 受講者：56名 受講料：テキスト代 500円（テキストは情報システム課で作成・印刷） 機材：ノートパソコン 13～15台（情報システム課端末）、プロジェクター 1台（情報システム課備品）					
事業効果・成果 多くの市民から申し込みがあり、受講者からは高い評価をいただいている。Excelの基礎的な操作方法を学ぶことで就職に必要なスキルを身に付けてもらうことができた。					
今後に向けての課題・改善点	来年度の開催は計画していないが、申し込み者数が多いことから今後の実施について検討する必要がある。受講者からは中級レベルの講習の実施について要望が多く、今後実施するとすれば、基礎的な講習から継続した中級レベルの講習の検討が必要である。			23年度区分	継続
No.	3	事業名	国際交流員（CIR）異文化理解出前講座	提案部署	企画部 男女共同参画・交流推進課
事業内容 異文化理解を深めるため、国際交流員（CIR）が母国の言葉・文化・伝統的な遊び等を紹介する講座及び体験学習を実施した。 実施回数：34回 参加人数：のべ1003人 ○出前講座（24回開催） 実施期間：4/24～2/24 実施団体等：一般団体4回、幼稚園・保育園9回、小学校1回、中学校6回、高校4回 参加人数：854人 ○異文化理解講座『韓国にふれよう』（9回開催） 参加人数：のべ140人 ○韓国の伝統文化体験（『韓国を楽しもう！韓紙（ハンジ）でお皿作り&韓国伝統遊び「ユンノリ」「トゥホ』） 実施日：9/10 参加人数：9人					
事業効果・成果 ・韓国文化を通じ、異文化理解を深め、また日本の文化について再認識するきっかけとなった。 ・一般市民向けの講座を週末または夜間に開催したところ、参加者が増え、より多くの人々が異文化に触れる機会を創出することができた。 ・国際交流員の存在を広めることができた。					
今後に向けての課題・改善点	来年度は韓国文化の紹介、韓国語講座のみならず、韓国料理の紹介など新しい分野の講座などを企画・開催する。			23年度区分	継続

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	4	事業名	パパリストを活用した男性にとっての男女共同参画の推進	提案部署	企画部 男女共同参画・交流推進課
事業内容					
<p>市で実施しているパパパワーUP講座や男性向け料理教室の参加者などをパパリストに登録し、登録した方同士が講座後も継続して交流できるよう支援をする。また、登録者の得意分野を活かして、講座等の講師やサポーターとして地域に参画する機会を設け、登録者の情報や体験談等を広報やホームページで紹介する。こうした取り組みを積極的に行うことで、パパリストとその活動内容の周知を図り、幅広い市民参画を目指していく。</p>					
事業効果・成果					
<p>・「男性の育児・家事参画」や「家庭での共同参画」の気運が高まり、パパサークルとの事業共催や当事者同士の継続した交流が生まれるなど、パパ達の自主的な活動に繋がっている。</p> <p>・メーリング・リストを設けたことで、講座終了後も当事者同士の情報共有が行われるなど継続した交流に繋がってきている。</p>					
今後に向けての課題・改善点	<p>・交流の質を高めるため、講座に参加した対象以外にも継続してPRしていく必要がある。</p> <p>・登録者の生活スタイルやメッセージなどをHPなどで紹介し、パパや家族の多様性を発信していきたい。</p>			23年度区分	新規
No.	5	事業名	施設標識及びリーフレットの多言語化	提案部署	企画部 男女共同参画・交流推進課
事業内容					
<p>市役所を訪問する在住外国人等の利便性を高めるため、国際交流員や国際交流協会スタッフの協力を得て、本庁及び支所の部署案内看板を英語、中国語、韓国語で多言語表記した。</p> <p>※リーフレットについては、補助金の交付が決定したため、それを活用して災害関連のリーフレットを作成した。</p>					
事業効果・成果					
<p>市内在住の外国人が来庁した際に、理解できる言語で書かれた看板があることにより利便性が高くなったほか、安心感を与えているものと考えられる。</p> <p>また、海外からの来庁者に対し、市が国際化に対応していることの周知になった。</p>					
今後に向けての課題・改善点	<p>本庁、支所の部署看板の多言語化については対応済みであるが、機構改革等で部署名が変更になれば早急に対応する。</p>			23年度区分	新規
No.	6	事業名	事業所のごみ排出意識啓発事業	提案部署	市民部 環境交通安全課
事業内容					
<p>一般廃棄物の収集運搬については、収集運搬許可業者に委託しているケースが多いことから、事業系一般廃棄物の排出に対する意識向上を図るため、市内各事業所を訪問し、チラシによる資源ごみ分別排出の啓発を実施した。また、ごみ排出状況の聞き取りを行った。</p> <p>活動回数：4回 訪問先：大曲駅周辺の居酒屋及びスナック等飲食店80店舗（12/9）、神岡・西仙北・協和地域のコンビニエンスストア6店舗（12/13）、中仙・仙北・大曲地域のコンビニエンスストア8店舗（12/20）、大曲地域コンビニエンスストア14店舗（12/26）</p>					
事業効果・成果					
<p>訪問した店舗の従業員の中には、店舗から排出されるごみ処理について把握していない者も多く、経営者だけでなく従業員のごみに対する意識啓発の機会となった。市が積極的に意識啓発を行うことにより、ごみの分別が促進されるものと思われる。</p>					
今後に向けての課題・改善点	<p>22年度には、福祉施設及び官公庁の一部に対して訪問指導を実施しているが、今後はその他事業所に対しても訪問指導を実施していく。また、一般廃棄物処理業者への分別収集の指導を行う。</p>			23年度区分	新規

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	7	事業名	鮭の稚魚の成長観察	提案部署	農林商工部 農林振興課
事業内容 自然環境や生命の大切さ等を学んでもらうことを目的として、秋に玉川漁場で採捕し、市営水産ふ化場にて受精させた鮭の卵を希望する市内小学校へ配布し、小学生にふ化の瞬間とその後の成長観察、給餌等の作業、河川に放流するまでを体験してもらった。 ○水槽設置・発眼卵配布・観察指導 2月上旬に花館、四ツ屋、内小友、神宮寺小学校で実施。 ○水槽設置・稚魚展示 2月下旬に市役所大曲庁舎、花館公民館、仙北地域振興局で実施。 ○放流式 3/12に玉川河川敷にて実施。花館小学校6年生62名が参加。 ○放流式 4/11に玉川河川敷にて実施。花館小学校3年生55名、四ツ屋小学校2年生40名、神宮寺小学校3年生32名が参加。					
事業効果・成果 ・身近で鮭の稚魚を観察し、放流までを体験することは、子どもたちにとって貴重な体験となり、自然環境豊かな大仙市を感じることができたと思われる。 ・公共施設で稚魚を展示することにより、来庁する市民等に対し、事業の内容や鮭事業の伝統をPRすることにつながっているものと考えられる。					
今後に向けての課題・改善点	より多くの児童に鮭の誕生から放流までを観察、体験してもらうため、現在実施している4小学校以外の小学校での実施を検討する。また「鮭資源等確保活用事業」について、市民の理解を深められるよう、公共施設での展示を検討しPRを図る。			23年度区分	継続

No.	8	事業名	J Rとの連携事業「駅からハイキング」	提案部署	農林商工部 商工観光課
事業内容 J Rが主催するウォーキングイベントである「駅からハイキング」へ、市内周遊コースを提案。案内人・休憩所等の情報提供や手配に協力するとともに、当日スタッフとしてハイキングに同行しJ Rスタッフと共に運営にあたった。 実施回数：4回 参加総人数：136名 ○桜咲く川湊まち巡り&歴史ある酒蔵見学コース（起点駅：JR羽後長野駅） 実施日：4/30 参加人数：31名 コース：道の駅なかせん、お役屋の門、鈴木酒造店、長野神社、曹溪寺 ○新緑の国指定名勝旧池田氏庭園と平安の歴史探究コース（起点駅：JR大曲駅） 実施日：6/4 参加人数：36名 コース：柵の湯、高梨神社、旧池田氏（払田）庭園、払田柵跡、旧池田氏庭園 ○花火のまち大曲で民俗学の先駆者“菅江真澄の道”を辿る歴史探究ウォーク（起点駅：J R大曲駅） 実施日9/24 参加人数：26名 コース：虎王丸塔、花火通り商店街、昼花火見学、新堀八幡宮、花火工場見学 ○紅葉の国指定名勝“旧池田氏庭園”と歴史探究コース（起点駅：J R大曲駅） 実施日：11/6 参加人数：43名 コース：柵の湯（餅つき体験）、旧池田氏（払田）庭園、払田柵跡、旧池田氏庭園					
事業効果・成果 J R東日本主催の事業を市と協働で行い、募集・周知等をすべてJ R側で実施。募集周知等にかかる予算もすべてJ R側で負担するため、効率的かつ効果的に首都圏からの誘客、近隣参加者の流動などで観光振興を図ることができた。特に、11/6実施分については、J R東日本の重点販売地域指定期間中の事業であったため、首都圏及び県外から多くの方が参加され、本市の観光素材のPR促進に寄与できた。					
今後に向けての課題・改善点	今後は、平成24年10月から12月に開催されるJ R東日本主催「ステーションキャンパイン」及び平成25年10月から12月に開催される「ステーションキャンパイン」に向け、市内のあらゆる観光素材を活かした「駅からハイキング」を企画し、J R側へ提案していく。			23年度区分	継続

No.	9	事業名	県南地区職場研修事業	提案部署	農林商工部 企業対策課
事業内容 新卒就職者の早期離職の解消と県内就職の促進を目的に、大曲仙北・横手市・湯沢市の3雇用開発協会と連携し、県南地区の56事業所の協力を得て県南地区において職場研修事業を開催した。参加した学生には直接事業所を訪問してもらい、職場の雰囲気や仕事内容の理解するとともに、就職に対する意識を深めてもらった。 実施期間：7/22～8/3（11日間） 対象者：大曲仙北郡内及び横手・湯沢地域の高校3年生、大曲技術専門校生 参加者：344人（大曲地域のべ138人）					
事業効果・成果 大曲仙北地域の平成24年3月卒業予定者の就職希望者の内、高校生の就職内定率98.5%（平成24年2月末現在）となっており、昨年と比較して1.5%上昇している。 また、事前に職場を体験することにより職業のミスマッチを減らし、早期離職を防ぐ効果が期待できる。					
今後に向けての課題・改善点	より多くの学生の参加できるよう、また多くの企業から受け入れていただけるよう当該事業の周知及び理解の促進を図り、引き続き事業を行っていく。			23年度区分	継続

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	10	事業名	仙北地域雇用促進就職面接会	提案部署	農林商工部 企業対策課
事業内容 厳しい雇用状況の中で、求職者の就職支援と企業の人材確保を目的とし、ハローワーク大曲・角館、仙北地域振興局、大仙市、仙北市、美郷町で組織する「仙北地域雇用促進連絡会議」を主催とする就職面接会を実施した。 開催回数：2回 参加総数：のべ373人 ○新規高卒者就職面接会（10/7実施） 開催場所：フォーシーズン 対象者：平成24年3月卒業予定の高校生 参加者：のべ198人 参加企業：25社 ○仙北地域雇用促進就職面接会（2/2実施） 開催場所：大曲交流センター 対象者：一般求職者および平成24年3月卒業予定の高校生 参加者：のべ175人 参加企業：44社					
事業効果・成果 この就職面接会における内定者は10/7実施分で20人、2/2実施分では22人と地域の雇用について効果があった。面接会を通じ、求職者は希望する職種や条件等について具体的に確認することが可能であり、企業も一度に多数の希望者と面接できるため、双方に利点があったと考えられる。また、当該事業が求職者と企業の橋渡しとなり、地域への就職を促すことで地域経済への効果が期待できる。					
今後に向けての課題・改善点	地域の雇用問題解決に結びつけるため、より多くの企業、参加者が集まる面接会となるよう、広くPRを行っていく必要がある。			23年度区分	継続
No.	11	事業名	大仙市オリジナル名刺作成	提案部署	農林商工部 企業対策課
事業内容 市職員、関係団体、市議会議員、市出身者等が大仙市をPRし、企業誘致、観光振興につなげることを目的として、市内印刷業者の協力を得て、市の位置・観光名所等の写真やイラストが入った名刺の台紙（フルカラーで見開きのもの）を作成している。 ※オリジナル名刺は、花火デザイン50枚と旧池田氏庭園50枚の計100枚で1セット。台紙のデザイン・製作費は無料で、名刺代（印刷代等の実費）は注文者負担となる。（1セット3,300円）					
事業効果・成果 23年度は、作成人数が35名（職員28名、市議会議員2名、県議会議員3名、首都圏在住の市出身者2名）、作成個数は42ケースであった。年度中盤・後半にも追加注文があり、継続的な大仙市のPRにつながっているものと考えられる。					
今後に向けての課題・改善点	市職員、市議会議員への利用案内を継続するほか、ふるさと会、企業懇話会等の市出身者が集う機会での周知を積極的に行い、首都圏在住の市出身者の利用増を図っていく。			23年度区分	継続
No.	12	事業名	市内企業データベースの公開	提案部署	農林商工部 企業対策課
事業内容 企業情報を一元化して「業種別」「五十音順」の2カテゴリから企業情報を検索できるデータベースを活用し、管外企業並びに管内企業同士の受発注の促進を図る。 23年度は個別企業訪問時にデータベースの紹介、利用案内を実施したほか、企業連絡協議会総会でも周知を図った。					
事業効果・成果 23年度は新規登録をした企業が4社あり、年度末時点での登録数は21社となった。					
今後に向けての課題・改善点	引き続き市内企業に対する周知・登録の呼びかけを行い、登録企業数の増加に努める。			23年度区分	継続

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	13	事業名	シルバー人材センター地域窓口支援事業	提案部署	農林商工部 企業対策課
事業内容 本事業は市シルバー人材センターのサービス利用者とシルバー会員双方の利便性向上を図るため、作業依頼の仮受付とシルバー会員が作業後に提出する就業報告書の送致に関する業務について、市が協力するものである。 対応内容 ①作業依頼の仮受付（各市民サービス課で仮受付し、シルバー人材センターへ連絡） ②作業後にシルバー会員が提出する就業報告書の送致（各市民サービス課で就業報告書を受け取り、企業対策課で取りまとめ後にシルバー人材センターへ送致）					
事業効果・成果 平成22年11月まで、シルバー人材センターが各地域に地域窓口業務担当者を配置して業務を行っていたが、各支所を窓口とすることでその経費を削減することができた。 また、各支所を窓口とすることにより、利用者及びシルバー会員の利便性向上につながった。 ■各地域窓口業務人件費／ 平成21年度 4,496,910円、平成22年度 1,261,970円、平成23年度 0円 ■市民サービス課仮受付件数／平成23年度 154件 ■就業報告書送付内容件数／平成23年度（報告書）3,009件					
今後に向けての課題・改善点	利用者およびシルバー会員の利便性を保つため、引き続き実施することが必要である。			23年度区分	新規

No.	14	事業名	八乙女公園桜守プロジェクト0予算事業	提案部署	中仙支所 農林建設課
事業内容 本事業は、市で行っている「桜守プロジェクト」と連携して、八乙女公園の桜保全作業を行うものである。 23年度は、地元関係団体（八乙女山を守る会、土友会、中仙ライオンズクラブ）、小学生（中仙小学校児童）、及び職員（中仙支所職員中心）の協力により、以下の作業を実施した。 ○「桜」に巻き付いている蔓（つる）の除去作業（施肥作業と併せて） 6月30日 13人 9月5日 41人（うち中仙小学校児童33人） 9月25日 6人 ○業者への公園管理業務委託外における下刈作業 10月7日 18人 10月23日 25人 ○公園内の枯枝等除去作業 4月20日 25人					
事業効果・成果 市民と協働で地域の資源を守ることは、地域住民が主体的に地域づくりや地域活性化等に関わることに繋がっていくものと考えられる。 また、自分たちの地域の資源を地域住民が自ら守っていくことで、愛郷心の醸成に結びついていると思われる。					
今後に向けての課題・改善点	事業について多くの市民の理解を得て、参集範囲を拡大していきたい。			23年度区分	継続

No.	15	事業名	樹木の剪定及び伐採処分等事業	提案部署	教育指導部 教育総務課
事業内容 学校現場からの要望及び巡回の過程で、倒木や枝折れの恐れがある場合や、交通の妨げ、あるいは近隣の施設等に迷惑がかかっている樹木の剪定及び伐採処理作業を職員が行うものである。 23年度は、稲沢地域の住民より、旧稲沢小学校の樹木の枝剪定をしてほしいとの要望があり、実施した。 ○作業内容 ・除雪経路を覆っているポプラの木枝の剪定 ・腐食及び枝折れしている桜の木の枝剪定及び伐採 ○作業日時 平成23年10月13日（金） 15:30～17:30 ○作業人数 教育総務課職員 5名					
事業効果・成果 附近住民の要望に対し、迅速に対応することができた。 また、この作業を実施したことにより、冬期間の除雪経路を確保し、経費についても5万円弱の削減を図ることができた。 【委託時概算費用】 ・作業賃金 1,450円*5人*2時間=14,500円 ・使用機材 =20,000円 ・運搬費 = 5,000円 ・諸経費 = 4,000円 合計 43,500円					
今後に向けての課題・改善点	優先順位を選定しながら、既存小・中学校の施設維持に努め、次年度以降も継続していきたい。			23年度区分	継続

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	16	事業名	校庭内ライン引き事業	提案部署	教育指導部 教育総務課
事業内容					
幼稚園、小中学校の校庭内駐車場及び通路での事故防止のため、要望のあった3校（大曲小、花館小、大曲南中）の駐車場区画線の整備（ライン引き）を実施した。					
○作業日時 平成23年10月13日（金） 9:00～15:00					
○作業人数 教育総務課職員 5名、校務員 3名					
事業効果・成果					
小中学校の敷地内安全面の向上（事故防止）、駐車スペースの確保をすることができた。 また、60万円程度の経費の節減をすることができた。					
【委託時概算費用】					
・ライン引き作業 m/400円 1,190m*400円=476,000円					
・普通作業員 日/11,600円*4人= 46,400円					
・機材運搬費 = 5,000円					
・諸経費 = 52,000円					
合計 579,400円					
今後に向けての課題・改善点	優先順位を選定しながら、既存小・中学校の施設維持に努め、次年度以降も継続していきたい。			23年度区分	継続

No.	17	事業名	学びい囲碁サロン	提案部署	生涯学習部 生涯学習課
事業内容					
市民に囲碁対局の場を提供し、加えて児童の一人勉強をサポートするため、毎週金曜の6時から大曲地域職業訓練センターにおいて、大仙市子ども囲碁普及指導者協会との連携による囲碁サロン・勉強会を実施した。					
○実施日時 毎週金曜日（年末年始・祝日を除く） 午後6～9時					
○実施回数 46回					
○実施内容					
・囲碁初心者のための対局場所設置					
・参加児童に対する移動図書館による読書支援（大曲図書館の団体貸出を利用）					
・児童が自分で持ち込んだ教材を使用した自学自習支援					
・外部講師を招いての囲碁教室開催（年数回程度）					
・児童に提供するおやつを通じた食育活動					
○参加料 100円					
○参加人数 752人					
事業効果・成果					
児童から大人まで様々な年齢、様々な地域の参加者がいる中で、囲碁を通じた活動によって参加者がコミュニケーションをとることが出来ている。 自分で持ち込んだ教材を使った自学自習の面では、児童生徒がお互いに教え合ったり、上級生が下級生に教える姿が見られ、互いの成長の一助となっているものと考えられる。					
今後に向けての課題・改善点	周知活動について、市の広報以外にも民間のフリーペーパーの利用など検討する。			23年度区分	継続

No.	18	事業名	花館地区歩こう会	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 花館公民館
事業内容					
花館地区の歴史や自然に触れながら理解を深めつつ健康増進を図ることを目的として、23年度は前年度から引き続き秋田駒ヶ岳を散策する「歩こう会」を実施した。					
実施日：6月12日（日） 参加人数：22名					
事業効果・成果					
参加者には実費相当分の負担をお願いしており、23年度は参加費2,000円でバスの借上料、温泉入浴料を賄っている。当該事業は経済的にも参加しやすいイベントであり、また、このような機会を設けることで普段は登山に縁のない人でも気軽に駒ヶ岳に登ることができるということで参加者には好評であった。 当該事業により自然に親しみつつ、健康増進を図りながら、参加者同士の親睦を深めることによって、コミュニティ意識の醸成につながることを期待される。					
今後に向けての課題・改善点	参加者が少数の場合、今回と同等の負担額での実施は困難となる。そういった場合でも事業を継続するためには、実施日を平日にし、市所有のバスや公共交通機関の利用、その他の費用については各自負担にするなどの検討が必要となる。			23年度区分	継続

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	19	事業名	角間川囲碁教室	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 角間川公民館
事業内容 子どもたちの考える力の向上や高齢者の認知症予防など脳を活性化させる効果を期待して、小学生・大人（初心者から有段者まで）を対象に地元の指導資格を持った講師2名を迎え、囲碁教室を開催した。 開催期間：平成23年4月17日～平成24年3月28日 開催曜日：水曜日・日曜日 開催時間：午後1時30分～3時30分 延べ開催数：90回 延べ参加人数：480人					
事業効果・成果 高齢者の楽しみの場となっているほか、子どもたちにとっては考える力が身に付くきっかけとなっていると思われる。また、高齢者と子どもたちがコミュニケーションをとるきっかけとなっている。					
今後に向けての課題・改善点	子どもの参加者が少ないため、学校等と連携しながら参加人数を増やしていきたい。 また囲碁初心者の掘り起こしと、囲碁の楽しさをPRし、参加促進を図ってきたい。			23年度区分	新規

No.	20	事業名	アクアレスキュー（旧アクアキッズフェス）	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 神岡中央公民館
事業内容 全国のB&G海洋センターで同日に行う水上レスキュー種目を主体とした1チーム4人による競技会。 昨年度までは、アクアキッズフェスとして泳げない子どもでも楽しめる水中運動会を種目に開催していたが、B&G財団が推進している「水の事故ゼロ運動」の取り組みの一環として水難救助に特化した種目を導入した。 ○実施日 平成23年7月27日（水） ○実施場所 神岡海洋センター 神岡海洋センターからは2チーム8名が参加し、①4人ライフジャケットレース②ペットボトル的当て③ラッコ泳ぎリレー④ロープレスキューの4種目に挑戦し、タイムを競った。					
事業効果・成果 ・水泳を主とした競技会でないので、泳ぎが得意でない子どもでも気軽に楽しむことができる。 ・レスキュー競技を通じて水難事故防止の意識高揚が図られる。 ・B&G財団のサイトを通じ、記録を入力すると当日中に全国順位が判明するシステムが子どもたちの興味をそそるなど他の事業にない特色を持っている。 ・用具も特に経費のかかるものを準備する必要がなく職員だけで対応できるためコストもかからない。 ・プールイベントを開催することで、プールのPRやリピート率向上の効果が期待できる。					
今後に向けての課題・改善点	B&G財団の主催事業にあわせた事業であり実施上の問題点は特にないが、多くの子どもに参加してもらえるよう周知を図っていく。			23年度区分	継続

No.	21	事業名	ふるさと発見事業	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 神岡中央公民館
事業内容 神岡の自然を撮影したビデオをもとにDVDに編集し、学校教材として市内の小中学校に貸し出しを実施している。今回で通算13集目の作品となった。学校の他、地域文化祭などで上映し地域の貴重な自然や動物の営みを紹介しており、特に23年度は、完成披露上映会を開催し一般に広く公開した。 ◎野鳥映像新作発表会の開催 【日時】 平成24年3月28日（水）午前10時 【場所】 かみおか嶽雄館 ビデオシアターホール 【参加人数】 16名（小学生11名・大人3名）					
事業効果・成果 ビデオの撮影と編集は、野鳥の会員と元教員の2名が、ボランティアで行っているため特に予算上の支出は発生しない。 貴重な野鳥の生態を鑑賞することで、普段何気なく見過ごしている地域の自然の豊かさを再発見することができるとともに、子どもの情操教育や自然保護意識の高揚などさまざまな効果が期待できる。					
今後に向けての課題・改善点	さまざまな機会を利用して上映会を開催するなど作品の紹介とPRを図りながら有効に活用していく必要がある。			23年度区分	継続

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	22	事業名	こども自身体験事業	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 神岡中央公民館
事業内容 夏休み期間中の子どもの体験学習の一環として、秋田県埋蔵文化財センターで施設見学や「石器づくり」に挑戦した。 【実施期日】 平成23年7月28日（木）午前9時～午後3時 【参加人数】 18名					
事業効果・成果 ・石器づくり体験は、秋田県埋蔵文化財センターで開催している事業であり、県の事業を有効に活用することで、専門の知識をもった講師の指導を受けることができた。 ・教科書などでしか見ることのできない土器や石器の実物を見学したり、石器づくりをとおして原始生活の一部を体験することで、原始時代の人々の生活の知恵に感動したり、現代生活で当たり前のように使われている道具の大切さを改めて認識する機会となった。					
今後に向けての課題・改善点	子どもの興味をそそる体験事業のメニューを提供するなどの工夫が必要である。			23年度区分	継続

No.	23	事業名	子ども体験教室	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 西仙北中央公民館
事業内容 たくましく生きる力を育み、自然や環境を大切にすることを養うため、小・中学生を対象に休日や長期休暇を利用して自然や文化、地域の人材を活用した様々な体験活動を実施した。 ○親子でクッキング（平成23年8月4日実施） 内 容：朝食の大切さについて学び、朝食づくりをする。 試食をしながら参加者同士のコミュニケーションを図る。 参加者：25人 ○七夕まつり（平成23年7月26日実施） 内 容：西仙北地域の自然の豊かさを感じる。（青少年自然の家、布又地震・強首地震震源地、清水亀田街道、乙越沼） 七夕飾りを製作し、願いを込めて笹に飾りつけを行う。 参加者：28人 ○ユニカールとエコクラフト体験（平成23年12月27日実施） 内 容：ユニカール体験。エコクラフトで24年の干支「辰」を作る。 参加者：26人					
事業効果・成果 ・参加料を徴収し、その範囲内で事業を実施。生涯学習奨励員やボランティアの多大な協力で事業を実施することができた。また、協力者がいることで、子どもに目が行き届き、個々に満足感を与えることができたように思う。 ・様々な体験の中で、地域の自然や人々の良さの気づき、創意工夫する力を養う一助となった。 ・協力者は伝えることに喜びや生きがいを感じ、向上心にあふれている。積極的に次の事業に対しての意見の交換もされ、参考になっている。 ・リピーターが多く、子どもの健やかな成長に寄与しているものと考えられる。					
今後に向けての課題・改善点	小学校低学年の参加者が多数のため、協力者を増やし、安全に事業を行える環境設定が重要となる。 高学年や中学生の参加を視野にいれ、スポ少、部活動と関連をもった事業も考慮したい。 地域などの問題に即した内容の事業を展開し、問題解決につながるようにしたい。			23年度区分	継続

No.	24	事業名	子ども教室（のびのびきりん教室2011バージョン）	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 協和公民館
事業内容 保育士の資格を持った職員の経験を生かし、就学前の子どもの対象に様々な活動、交流を行う「のびのびきりん教室2011バージョン」を開催した。 ①「友だちになろう！」（6/22実施、37名参加） ・読み聞かせをする。 ・図書館で自分の好きな絵本を借りる体験をする。 ②「みんなで踊ったり、すてきな歌を聞いてみよう！」（8/31実施、34名参加） ・生涯学習奨励員による歌やピアノを聞く。 ・ホールのバックステージ体験をする。 ③「1年生と一緒に運動会ごっこをしよう！」（10/6実施、73名参加） ・小学校の体育館で色別に分かれて1年生と運動会ごっこをする。 ④「小学校にいった発表会を見てみよう！」（11/25実施、34名参加） ・小学校の発表会の予行練習を見る。					
事業効果・成果 ・年長児が一同に集まり、同じ経験を共有することで同年齢の子ども同士の交流を深めることができる。少人数の保育園もあるので、多くの人と関わることで子どもの発達段階においてよい影響となる。 ・就学を前に交流を深めることにより、就学時の不安を軽減できる。 ・小学校に集まり、小学1年生と交流する場をもつことで、小学校にも慣れ入学への期待をもつ。 ・協和市民センター「和ピア」を利用したり、生涯学習奨励員と交流することで、地域に親しみを持つことができる。 ・小学校からも、入学後、子ども達の関わりができていてスムーズに学校生活に入れると好評である。					
今後に向けての課題・改善点	保育園・小学校間における一貫した連携の手助けとなるように、今後、公民館として何ができるのかを考慮し、保育園、小学校と連絡を取り実施をしていきたい。			23年度区分	継続

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	25	事業名	自主事業におけるキッズルーム（託児）開設	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 協和公民館
事業内容					
<p>保育士の資格を持った職員の経験を活かし、協和公民館主催の自主事業時に協和市民センター「和ピア」において、キッズルーム（託児）の開設を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月26日（1人、3歳） 航空自衛隊北部航空音楽隊コンサート 					
事業効果・成果					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 核家族が多くなっている中、イベント時に託児コーナーを設けることで子育て支援の場としての役割をはたすことができる。 ・ 子育て中の若い世代を対象に託児を行うことで、地域活動の場を広げ自主事業への誘客をはかることができる。 					
今後に向けての課題・改善点	託児サービスの事業が定着していないため、周知をはかっていく必要がある。			23年度区分	継続

No.	26	事業名	なんがいキッズプロジェクト	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 南外公民館
事業内容					
<p>南外地域の小学生を対象に、市内の名所を巡り、様々な体験をしてもらうツアーを実施した。</p> <p>○『こんなに広い私たちの大仙』 南外地域の小学3年生を対象にした社会科見学バスツアーとして5月19日に実施し、16名の児童が参加。大仙市内の名所や各施設などの「大曲駅」「こめこめプラザ」「北日本花火興業」を見学し地域を知る機会となった。</p> <p>○『ふるさと私たちの南外』 南外地域の小学2年生を対象とした地元体験バスツアーとして5月24日に実施し、24名の児童が参加。地元の人から牛の生態について説明してもらったり、搾乳体験を行ったりして牛と触れ合うことができた。その後、地元の寺に行き坐禅体験した。このツアーを通じて、地元の働く人々の姿を学ぶことができた。</p>					
事業効果・成果					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 南外地域の小学生が交流する機会を持ち、また、地域の働いている人や施設などを見学することで地元を知るきっかけづくりとなった。 ・ 2つのフィールドワークは、学校とタイアップして行ったことで経費をかけずに募集することができた。 ・ 学校の先生と打合せをし年齢に合った見学場所を決めることができたため、充実した内容のものにすることができた。 					
今後に向けての課題・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南外地域の小学校が統合されたことから、より交流が深まる機会を提供し、小学生が一体となってふるさとの良い所を一つでも多く知ることができるよう努めていく。 ・ 教科書には載っていない市の名所等をわかりやすい資料にし、地域に関心が持てるようにしていく。 			23年度区分	継続

No.	27	事業名	仙北ふれあい文化センター環境整備大作戦	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 仙北公民館
事業内容					
<p>センター敷地内の植物の園芸管理について、関心のある住民と職員の協働により地域の園芸栽培に詳しい方の指導を仰ぎながらコツを学び、環境整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月2日 ふれあい文化センターの敷地内清掃作業 ・ 6月1日 ふれあい文化センター東側スペースにひまわりの種の植え付け作業 プランターへのゴーヤの種まき作業（緑のカーテン作り） ・ 6月16日 敷地内外の樹木へのアメシロ薬剤散布作業 敷地内の除草作業並びに竹林の間引き、処分作業 ・ 7月1日 公民館の高齢者学級の方々と協力して、ふれあい文化センター東側花壇に花の定植作業を実施 仙北支所全職員と公民館職員による施設周辺の除草・清掃作業 事務室の窓へ緑のカーテンを取り付け ・ 8月1日 花摘み作業並びに除草作業 ・ 11月以降 花壇並びに施設周辺の清掃、片付け作業を随時実施 					
事業効果・成果					
<p>ふれあい文化センターは地域の施設であり、常に来館者が気持ちよく利用できる環境を職員はもとより利用（高齢者学級の方など）が自ら清掃、片付け作業を実施する体制ができており、住民と公民館があたたかい絆でつながっていると感じる。</p> <p>また、他の施設であればシルバー人材センター等に作業委託していると思われる作業であっても、休館日を利用して経費をかけずに、職員の技術の向上も兼ねた作業を実施することで財政面でも大きく貢献している。</p>					
今後に向けての課題・改善点	環境整備については、引き続き無理のない範囲で実施していきたい。			23年度区分	継続

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	28	事業名	「太田学び教室」&「太田てらこ屋」 (自主的な学力レベルアップ事業)	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 太田公民館
事業内容 中学校教諭や塾講師の協力を得て、夏期、冬期の長期休業中に小・中学生を対象とした学習会を開催した。 「太田キッズ学び教室」 (1) 開催日時 夏期 7月28, 29日、8月1, 2, 3日 10:00~11:30 冬期 12月27, 28日 10:00~11:30 (2) 参加人数 夏期・冬期合わせて延べ886名 (3) 会 場 太田公民館 (4) 内 容 ・学校で配布されたドリル、課題等の学習支援等 ・野菜収穫体験(夏期最終日に実施。希望者のみ。) ※「太田てらこ屋」については、日程の都合がつかず今年度実施せず。					
事業効果・成果 地域が連携して子どもを守り育てる意識が助長され、学力向上とボランティア意識の向上が図られる。また、平成22年度から野外体験学習も盛り込んだため、地域の良さを確認でき、地域の方々からも好評であった。					
今後に向けての 課題・改善点	引き続き、周知に努めてまいりたい。			23年度 区分	継続

No.	29	事業名	ゲストティーチャー紹介事業	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 太田公民館
事業内容 本事業はサークルの代表者、特技をもった人など公民館事業で培われた人脈を活かし、総合的な学習や各教科でゲストティーチャーとして活躍できる方々を紹介し、授業内容の浸透・活性化を図る事業である。 23年度は以下の体験学習を実施した。 ○「室町文化体験」 (1) 開催日時 6月9日 9:00~11:00 (2) 参加人数 22人(太田南小6年生) (3) 会 場 太田公民館 (4) 内 容 太田南6年生の総合的な学習での室町文化体験学習(茶道、華道、水墨画) ※この他にも、太田中に民謡・ささらの講師を紹介した。					
事業効果・成果 ・講師の方のボランティアによっておこなわれており、経費をかけずに室町文化を体験してもらうことができた。 ・世代間交流と実体験を通しての学習であり、児童生徒の将来の人格形成に役立つため、効果は大きいと考えられる。					
今後に向けての 課題・改善点	引き続き事業を実施していくとともに、情報収集、事業の周知に努めてまいりたい。			23年度 区分	継続

No.	30	事業名	少年少女野球教室 in おおた	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 太田公民館
事業内容 プロ野球OBの指導により少年少女の野球技術の向上と野球を通じた地域間の交流を目的として、毎年5月の連休中に、大仙市スポーツ少年団太田支部野球団員を対象に野球教室を開催している。 23年度の実施状況は以下のとおりである。 (1) 開催日時 5月7日 13:00~16:30 (2) 参加人数 太田地域スポーツ少年団野球チーム 3チーム計63名 (3) 会 場 大仙市宮太田球場 (4) 内 容 プロ野球OBのご厚意により野球教室を開催し、少年少女の野球技術の向上と地域間交流を図る。					
事業効果・成果 財政・運営の面では、地域の野球愛好家、公民館で実行委員会を組織し、企業・個人からの寄付金で運営しているため、経費はかからない。事業の効果としては、シーズン始めの時期にプロ野球OBによる実技指導を受けることは、実戦においてすぐに役立つものであり、効果は大である。					
今後に向けての 課題・改善点	長引く不況の影響で、企業・個人からの寄付金を集めるのが年々困難となり、資金確保が課題である。			23年度 区分	継続

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	31	事業名	公立図書館と学校図書館との連携	提案部署	生涯学習部 生涯学習課 総合図書館
事業内容 子ども読書の推進を遂行するため、月に最低1回図書館職員（司書等）が学校を訪問し、学校図書担当教師より学校図書の現状を聴取し、環境整備の強化を図る。また、読み聞かせへの図書館ボランティアの派遣や、小・中全校一斉読書（朝読書）への文献紹介などを図りながら、児童・生徒が自主的に読書に親しめる環境を作っていく。 23年度は以下の取り組みを行った。 ○新1年生への図書館利用案内（5月上旬実施） 図書館の利用カードの申請を呼びかけ、併せて、学校側に団体貸出の利用や読書推進事業のPRをした。 ○学校向け新刊案内の発行（長期休業前発行、年3回実施） 新刊案内「図書館へ行こう」を発行し、長期休業前に小中学校・高校へ配布した。 ○「親子で読みたいブックリスト」の作成（幼保、小中学校対象 10月中旬配布） 「大仙っ子 読書の日」（10/27～11/9）運動に伴い、「親子で読みたいブックリスト」を作成し、期間内でのスムーズな利用ができるよう工夫しながら読書の啓発をした。 ○職員による講師派遣 6月30日 藤木小学校 保護者対象 「本の補修、ブックコートのかけ方について」 7月28日 大川西根小学校 児童・保護者対象 「本の補修について」 その他、児童の図書館見学や読み聞かせボランティアの紹介等にも随時対応。					
事業効果・成果 取り組みを重ねるごとに、授業に使用する本の貸出をはじめ、本の補修や展示の研修への講師派遣など、学校からの要望が増えてきており、図書館と学校との相互協力意識が高まりつつあることを実感している。					
今後に向けての課題・改善点	学校図書館のニーズを把握し、きめ細やかなサービスができるよう、学校図書館担当者との対話を重視していく。また、授業で取り上げられる本やテーマなどをよくリサーチし、利用度の高い資料の充実に努めたい。			23年度区分	継続

No.	32	事業名	大仙市文化財めぐり	提案部署	生涯学習部 文化財保護課
事業内容 文化財に関心を持ってもらうため、また文化財の保存と整備、活用に対する普及啓発を図るため、市民及び小学生を対象とし、市民バスを利用した文化財見学ツアーを実施した。 (1)一般向け 実施日時：平成23年10月27日（木） 午前9時～午後4時 参加者：市民25人（定員） 参加費：1,000円（昼食費） コース：旧池田氏庭園、米蔵修復現場→仙北歴史民俗資料館・餅つき体験→橿岡焼き見学→常泉寺 (2)小学生向け 実施日時：平成23年8月10日（水） 午前8時30分～午後0時40分 参加者：市民13人（親子） 参加費：無料 内容：中仙地域探検（水神社→鈴木酒造店）					
事業効果・成果 ・参加した市民の理解が得られると同時に、公開活用により所有者・管理者側の保存意識の高揚が得られる。 ・一般向けのツアーについては定員を超える応募があり好評であったことから、文化財への関心の高さが伺える。					
今後に向けての課題・改善点	小学生向けツアーについては、二年目を向かえ、初年度に比較し参加者も増加傾向である。子ども目線にたった、見学コース設定に留意と創意を加え、継続を図る。			23年度区分	継続

No.	33	事業名	市民等が主催して行われる講座や座談会等への講師派遣事業	提案部署	生涯学習部 文化財保護課
事業内容 公民館主催講座をはじめ、地域の生涯学習団体や町内会・婦人会総会などの機会に、市民等が主催して行われる講座や座談会等において、文化財保護についての普及啓発を図るため、職員が訪問し講師として文化財保護課に係る講演などを行う。 23年度の実施状況は以下のとおりである。 大曲文化財保護協会講演 平成23年6月20日（月） 大曲交流センター ふるさと考古学セミナー・調査報告 平成23年6月25日（土） 県埋蔵文化財センター 古代発見バスツアー・現地視察 平成23年7月9日（土） 新山遺跡現場 古代発見バスツアー・現地視察 平成23年8月2日（火） 新山遺跡 10年研受け入れ（教員）・整理作業体験 平成23年7月28日（木） 文化財保護課 潟上市社協ボランティア研修会・講演 平成23年9月6日（火） 仙北支所 弘田柵総合案内所企画展 平成23年度 弘田柵総合案内所 文化財めぐり 平成23年10月27日（木） 橿岡城跡ほか 星宮遺跡企画展 平成23年11月11～13日 太田文化プラザ 第38回古代城柵官衙遺跡検討会 平成24年2月26日（日） 東北歴史博物館					
事業効果・成果 市有の既存資源（人的及び施設等）の有効活用事業として、文化財の普及啓発や生涯学習活動の推進について効果があると考えられる。					
今後に向けての課題・改善点	講師派遣のみならず、既存資源活用の観点から講師派遣のほか展示会・文化財公開・現場公開等を含めた各種のゼロ予算事業の実施が可能であり必要である。今後も、時勢に応じたテーマに考慮した普及啓発事業を行う。			23年度区分	継続

平成23年度ゼロ予算事業実績

No.	34	事業名	国指定名勝池田氏庭園リーフレット等作成（編集及び監修協力）	提案部署	生涯学習部 文化財保護課
事業内容					
<p>国指定名勝池田氏庭園の普及啓発のため、名勝庭園を築き地域づくりに貢献している池田家の功績顕彰を目的とする池田家顕彰会（市民団体伊藤稔会長）と連携し、リーフレットを作成において編集並びに監修等の協力を行った。</p> <p>リーフレット頒布状況 平成23年度 旧池田氏庭園 春季特別公開 6月一週間 6,614人 インターハイ協賛公開 7月一週間 631人 花火特別公開 906人 秋季特別公開 13,628人 随時見学 2,204人</p> <p>年間23,983人（前年度16,200人）</p>					
事業効果・成果					
<p>池田家顕彰会が主催して行われている庭園の特別公開時や問い合わせ時の説明用として配布利用されており、文化財庭園並びに文化財保護についての普及啓発に大きな効果がある。</p> <p>また、公開時の解説案内原稿の監修協力等を行っており顕彰会との市民協働により得られる普及啓発効果は大きいと考えられる。</p>					
今後に向けての課題・改善点	<p>名勝池田氏庭園の特別公開については、市民団体会員による受付や解説案内ボランティアが行われているなど、文化財の活用の分野において市民と行政の協働が図られ、文化財の保存整備活用に対する市民の理解と支援も広がりを見せていることから、今後の事業の継続を図る。</p>			23年度区分	継続

No.	35	事業名	文化財庭園活用事業（旧池田氏庭園・払田分家庭園のライトアップ事業）	提案部署	生涯学習部 文化財保護課
事業内容					
<p>払田分家庭園の普及啓発のため、常時維持管理が行われている払田庭園の夏季の活用として、庭園のライトアップを実施した。本事業は仙北地域最大の催事である「彩夏せんぼく」のイベント・プログラム支援として位置づけられている。</p> <p>実施日：平成23年8月15日（仙北地域夏祭り・彩夏せんぼく 開催日） 場所：払田分家庭園</p>					
事業効果・成果					
<p>市有の既存資源（人的及び施設等）の有効活用事業として、文化財の普及啓発や文化的観光の振興、地域間交流の促進について効果があると考えられる。</p>					
今後に向けての課題・改善点	<p>来園者が少なかったが、初年度事業であり周知不足が原因ではないかと考えられる。ライトアップ機材の調達と設営に関するノウハウが得られたことから、平成24年度の本家庭園・洋館建設90周年事業としてあらためて事業化を図る。</p>			23年度区分	新規

平成23年度実績 部署別一覧表

担当部署	新規	継続
企画部		
情報システム課		2
男女共同参画・交流推進課	2	1
市民部		
環境交通安全課	1	
農林商工部		
農林振興課		1
商工観光課		1
企業対策課	1	4
中仙支所		
農林建設課		1
教育指導部		
教育総務課		2
生涯学習部		
生涯学習課		1
花館公民館		1
角間川公民館	1	
神岡中央公民館		3
西仙北中央公民館		1
協和公民館		2
南外公民館		1
仙北公民館		1
太田公民館		3
総合図書館		1
文化財保護課	1	3
小 計	6	29
合 計	35	